

入札監視委員会の審議概要

開催日及び場所	令和6年9月11日(水) 北海道運輸局 6階会議室	
委員	委員長 久保 淳司(北海道大学 教授)	※敬称略
	委員 青野 渉(弁護士)	
	委員 上木 いくみ(税理士)	
審議対象期間	令和6年1月1日～令和6年6月30日	
抽出案件	総件数4件	
	物品・役務 一般競争	①事務用消耗品購入契約【単価契約】
		②デジタル複合機賃貸借契約及び保守契約(本局、各運輸支局12台)
		③北海道運輸局における行政情報ネットワークの運用・管理及び保守契約
		④小型自動車借上げ(北海道運輸局・气象台)【単価契約】
意見・質問及び回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	無し	
その他	無し	

《参考》

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年2月9日閣議決定)に基づき、北海道運輸局に設置されています。

①	事務用消耗品購入契約【単価契約】	
委 員		北海道運輸局
○毎年、応札事業者は同数くらいか。	●応札事業者は毎年、同数くらいである。入札公告もしているが、広く事業者に呼びかけるためにも、事務用消耗品を取り扱っており、面識のある事業者に声掛けをしている。	
○単価数量の裏付けや妥当性はあるか。	●年4回各支局・本局各部に要求調査をしており、年間のとりまとめ数をデータ化している。それをもとに、年間予定数量を算出している。	
②	デジタル複合機賃貸借契約及び保守契約（本局、各運輸支局12台）	
委 員		北海道運輸局
○賃貸借契約が終了した後、一般的には再リース契約も考えられると思うが、その点は考慮しないのか。	●5年という長期間のリースとなるので、故障のリスクや（5年後には）スペックが落ちているという問題もある。（再リースと新規契約の）どちらが良いのか状況を見ながら検討していく必要があると考えている。	
③	北海道運輸局における行政情報ネットワークの運用・管理及び保守契約	
委 員		北海道運輸局
○今年度の契約事業者は、例年、契約している事業者なのか。別の事業者だったこともあるのか。	●令和4年度までは、別の事業者と契約しており、今年度の契約事業者は昨年度から契約している事業者となる。	
○以前契約していた事業者が、応札しなかった理由はあるのか。	●人数が確保できないのが理由と聞いている。	
④	小型自動車借上げ（北海道運輸局・气象台）【単価契約】	
委 員		北海道運輸局
○レンタカー事業者数が多いのに、応札が少なく、ほぼ100%の落札率という点が目を引いた。	●職員が出向いて手続きするため、本局・各支局からレンタカー会社の拠点が近くになれば借りられず、（レンタカーの需要が多くなってきている情勢もあり、予定数量の台数に）対応できる事業者が数少なくなっているため、応札が少ない要因の一つとなっている。	
○当案件だけ（入札時期等の）進め方が早く、契約まで間が空いている。他の案件と進め方が違う感じがするが、何か理由があるのか。	●2年前に応札者がおらず不調となったことがあり、リスク回避のため他の案件よりも早めに進めている。	